

平成 2 9 年度
決算説明資料

平成 3 0 年 1 0 月 1 1 日

病 院 局

目 次

	頁
1 外来患者数の推移	1
2 東部医療センターにおける浸水に対する対応状況	2
3 有料個室の利用状況の推移	4
4 機能別病床数及び病床利用率の状況	5
5 名古屋市立病院改革プラン2017に定めた主な指標の達成状況	6
6 陽子線治療センターにおける収益的収支の推移	8
7 陽子線治療センターにおける治療患者数の推移	9
8 陽子線治療センターにおける居住地別治療患者数の推移	9
9 がん検診の部位別実施状況の推移	10
10 審査支払機関への請求に対する返戻率の状況	11
11 一般病院開設者別給与比較	11

1 外来患者数の推移

(1) 東部医療センター

(単位：人)

区 分	28 年 度	29 年 度
患者数（救急搬送患者数を除く）	210,407	193,078
初診料加算額対象患者数	7,642	5,780
紹介患者数	7,969	8,175
救急搬送患者数	7,645	7,764
計	218,052	200,842

(2) 西部医療センター

(単位：人)

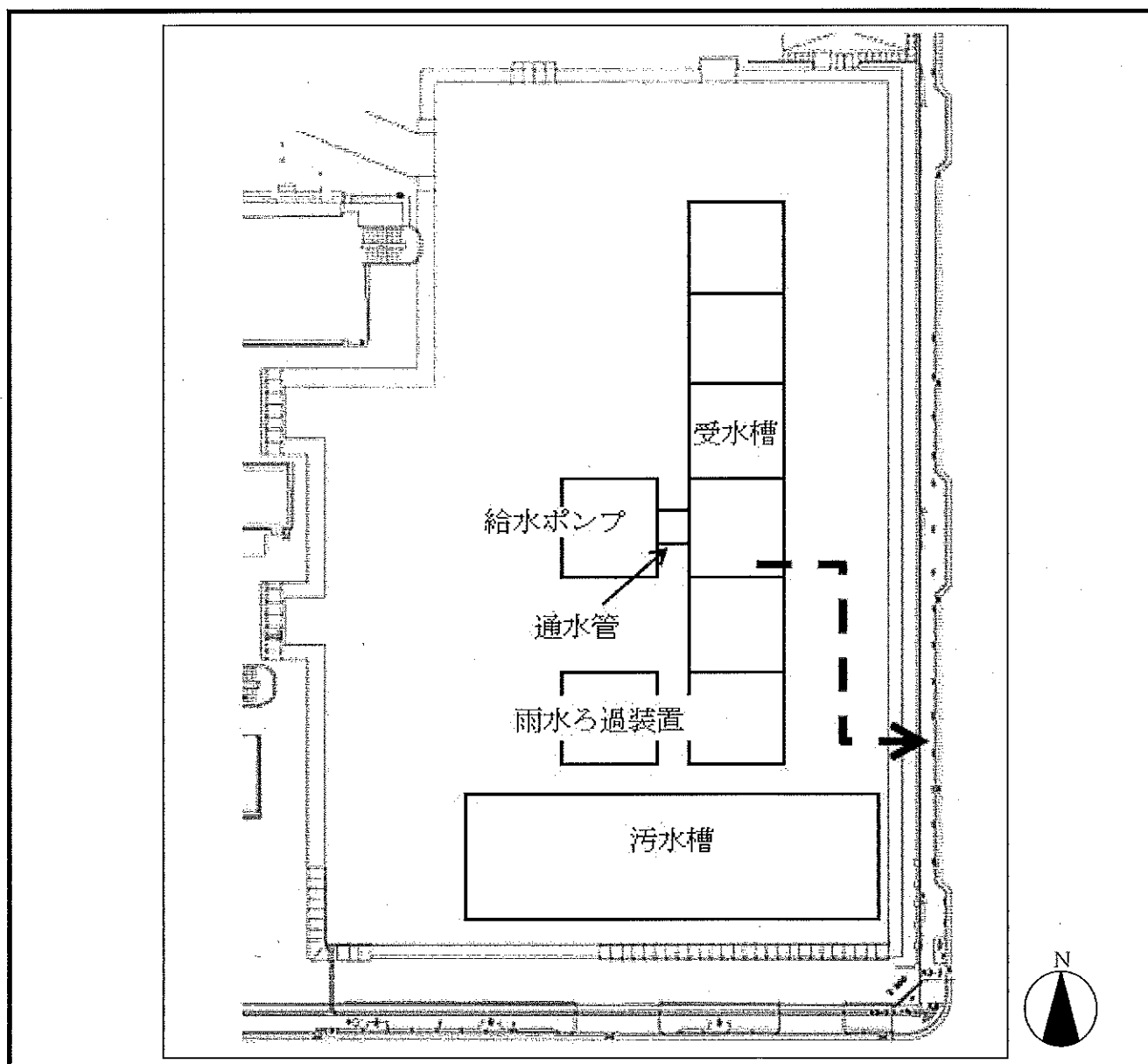
区 分	28 年 度	29 年 度
患者数（救急搬送患者数を除く）	290,953	289,282
初診料加算額対象患者数	6,817	5,053
紹介患者数	15,952	16,525
救急搬送患者数	2,298	2,622
計	293,251	291,904

2 東部医療センターにおける浸水に対する対応状況

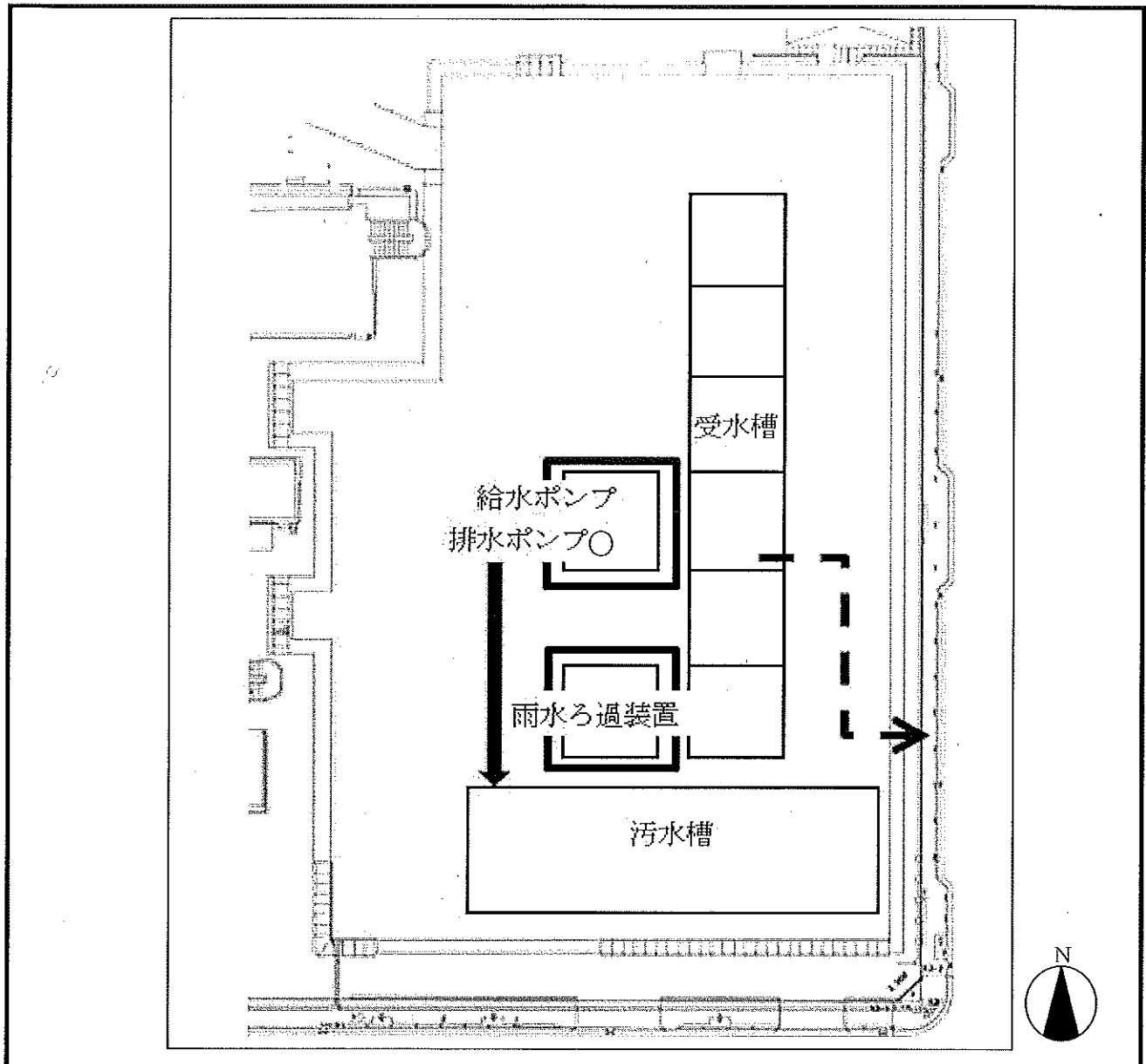
(1) 概要

区 分	内 容
経 緯	○平成29年7月12日に発生した局地的豪雨により、救急・外来棟の免震層内に雨水が流入し、給水ポンプ等が停止
原 因	○雨水が流入した際の給水ポンプ等への浸水対策が十分でなかったため
対 応 策	○免震層の給水ポンプ置場及び雨水ろ過装置置場の周囲を嵩上げ ○免震層内に流入した雨水を汚水槽へ排出できるよう排水ポンプを設置 ○給水ポンプ置場への水の流入を防ぐため通水管を遮断

(2) 救急・外来棟地下免震層対策前



(3) 救急・外来棟地下免震層対策後



3 有料個室の利用状況の推移

区 分		特 別 室 使 用 加 算 額	利 用 率	
			28 年 度	29 年 度
東部医療 センター		円	%	%
	特 別 室	12,000	62.7	63.3
	特 A 室	8,000	90.5	82.0
	特 B 室	6,000	92.6	92.5
	特 C 室	3,000	95.4	95.1
西部医療 センター	特 別 個 室 S	25,000	20.8	24.1
	特 別 個 室 A	20,000	52.3	52.7
	特 別 個 室 B	15,000	93.8	95.0
	一 般 個 室 A	8,000	87.4	84.6
	一 般 個 室 B	7,000	92.6	91.4

注：特別室使用加算額には消費税及び地方消費税の額を含まない

4 機能別病床数及び病床利用率の状況

(単位：床、%)

区 分		高 度 急 性 期	急性期	回復期	慢性期	休 床
東 部 医 療 セ ン タ ー	病 床 数	292	196	-	-	-
	病床利用率	71.9	78.6	-	-	-
西 部 医 療 セ ン タ ー	病 床 数	261	239	-	-	-
	病床利用率	83.6	84.4	-	-	-
緑市民病院	病 床 数	-	100	105	-	95
	病床利用率	-	85.2	91.8	-	-

注：東部医療センターの感染症病床（10床）を含まない

5 名古屋市立病院改革プラン2017に定めた主な指標の達成状況

(1) 東部医療センター

区 分	計 画	実 績	達 成 率	未 達 成 理 由
救 急 搬 送 件 数	7,900件	7,764件	98.3%	—
心臓カテーテル 検 査 件 数	695件	726件	104.5%	—
脳 卒 中 入 院 患 者 数	900人	571人	63.4%	脳神経外科医師の異動による 影響
内 視 鏡 下 手 術 件 数	900件	820件	91.1%	—
入 院 患 者 数 (1 日 平 均)	430人	363.9人	84.6%	—
外 来 患 者 数 (1 日 平 均)	940人	823.1人	87.6%	—
入 院 診 療 単 価	66,916円	68,779円	102.8%	—
外 来 診 療 単 価	10,336円	11,167円	108.0%	—

注：未達成理由は、計画に対し達成率80%未満の指標について記載

(2) 西部医療センター

区 分	計 画	実 績	達 成 率	未 達 成 理 由
救 急 搬 送 件 数	2,300件	2,622件	114.0%	—
分 娩 件 数	1,300件	1,311件	100.8%	—
が ん 手 術 件 数	550件	468件	85.1%	—
陽 子 線 治 療 患 者 数	600人	405人	67.5%	強度変調放射線治療（IMRT） やロボット支援下内視鏡手術 といった保険診療が広まって いる影響も考えられる
入 院 患 者 数 （ 1 日 平 均 ）	450人	420.1人	93.4%	—
外 来 患 者 数 （ 1 日 平 均 ）	1,180人	1,196.4人	101.4%	—
入 院 診 療 単 価	56,922円	57,298円	100.7%	—
外 来 診 療 単 価	19,293円	18,678円	96.8%	—
外 来 診 療 単 価 （陽子線を除く）	14,000円	14,914円	106.5%	—

注：未達成理由は、計画に対し達成率80%未満の指標について記載

6 陽子線治療センターにおける収益的収支の推移

(単位：千円)

区 分	28 年 度	29 年 度
・ 収 益 的 収 入	2,010,615	1,958,076
入 院 収 益	38,548	47,006
外 来 収 益	1,185,387	1,098,561
一 般 会 計 補 助 金	705,981	725,010
そ の 他	80,699	87,499
収 益 的 支 出	2,006,540	1,982,715
給 与 費	369,788	349,876
材 料 費	22,245	17,699
経 費	717,386	710,555
減 価 償 却 費	680,799	711,700
そ の 他	216,322	192,885
収 支 差	4,075	△ 24,639

注：一般会計補助金には、一般会計負担金を含む

7 陽子線治療センターにおける治療患者数の推移

(単位：人)

区 分	28 年 度	29 年 度
当 初 計 画	500	600
実 績	422	405

8 陽子線治療センターにおける居住地別治療患者数の推移

(単位：人)

区 分	28 年 度	29 年 度
名 古 屋 市	130	133
愛 知 県 (名古屋市を除く)	180	187
岐 阜 県	56	36
三 重 県	35	24
そ の 他	21	25
計	422	405

9 がん検診の部位別実施状況の推移

(単位：件)

区 分		27 年 度		28 年 度		29 年 度	
		自 己 負 担		自 己 負 担		自 己 負 担	
		あ り	な し	あ り	な し	あ り	な し
東部医療 センター	胃 が ん	95	96	74	90	82	77
	大腸がん	95	225	54	135	68	161
	肺 が ん	103	127	61	104	77	108
	子宮がん	197	159	98	96	174	148
	乳 が ん	222	373	138	218	137	256
	前 立 腺 が ん	23	44	17	39	15	49
	計	735	1,024	442	682	553	799
西部医療 センター	胃 が ん	46	52	115	141	95	103
	大腸がん	48	108	62	95	49	104
	肺 が ん	60	95	68	97	54	92
	子宮がん	803	343	718	295	702	325
	乳 が ん	291	394	305	357	200	380
	前 立 腺 が ん	16	37	21	40	17	40
	計	1,264	1,029	1,289	1,025	1,117	1,044

注：自己負担なしは、特定の年齢の方に配付される「無料クーポン券」の利用者と
市民税非課税世帯等の自己負担金免除者の件数

10 審査支払機関への請求に対する返戻率の状況

(単位：％)

区 分	入 院	外 来
東 部 医 療 セ ン タ ー	4.2	1.3
西 部 医 療 セ ン タ ー	4.6	2.3

注：各月の請求額の計に対する返戻額の計の割合

11 一般病院開設者別給与比較

(単位：円)

区 分	平 均 年 収		
	医 師	看 護 職 員	医 療 技 術 員
公 立 病 院	15,312,022	5,568,713	5,507,321
公 的 病 院	14,268,578	5,115,095	5,111,929
医 療 法 人	15,166,986	4,552,017	4,164,108

注1：平成28年度の実績

注2：厚生労働省「第21回医療経済実態調査」による

注3：公的病院とは、日本赤十字社、済生会、厚生農業協同組合連合会など

